

内閣 国立白門会 ニュース

第 12 号

国立市富士見台1-1-201

村 田 亘

TEL 75-2020

印刷 大矢印刷

市民祭へ参加

十一月 三日(日)
四日(月)

- ◆NHK初参加「お母さんと一緒に」
- ◆新企画「皆と手をつなごう」
- ◆バザー・無料相談、今年も頑張ろう!!

市民祭は今年で第16回目です。白門会は今年で5回目の参加となります。バザー・無料相談と、毎回二本立てで行ってきました。特に無料相談では、著名な弁護士・公認会計士・不動産の諸先生のご協力が得られ、中央大学国立白門会ここにありと注目される様になりました。昨年からはお祭り運営の裏方として実行委員会にも参加し、今年も楽しいお祭りになるようにと、7月から張り切っています。

今年には多くの学校団体等に呼びかけ、NHKが「お母さんと一緒に」を、ステージで行います。東女体の新体操、千人大コーラス、ウォークラリー等、企画は盛沢山です。特に今年には「皆で手をつなごう」と、新企画が試みられま



第15回市民祭 (S.59.11.4)

す。規定時間内にどれだけ多くの人が手をつなげる事ができるか。期待と不安が入り混じったチャレンジ企画です。私達白門会も例年通り、バザーコーナーと、無料相談コ

コーナーを設けます。バザーコーナーでは、昨年は約九万六千円の売り上げがあり、その内一万を社会福祉団体に寄付させて頂きました。皆様方のご協力には感謝いっぱいです。と共に、今年もまた、ご協力をお願い致します。「こんな物でも良かったら」という様な物で結構ですので、ご連絡頂ければ、お預かりに伺います(村田 TEL 2020・山崎 TEL 3948・風間 TEL 2951)。今年も北海道名産の日高コンブを即売する予定です。無料相談コーナーでは、法律・税務・不動産と分け、本

山梨支部と交流

●秋の行楽●
ワインの試飲とぶどう狩り
昼はバーベキュー

恒例といつて良い程、秋は甲府へ行く。今年で三回目である。特に今年は世界を騒がせているだけに、それ程向こうでは歓迎されるのであろう。これもひとえに、山崎・関両氏の努力のたまものである。モンデワイン、メルシャンワインと二つの工場見学を行う。モンデワインでは二十数種類のワインが試飲できる。メロソリキユール、チェリーブランドー、高麗人参酒等。メルシャンワインでは見学もさる事ながら、ワインを飲みながら食べるバーベキューは最高

である。季節よし、景色よし、料理よし。そして、山梨県立美術館に向かい、山梨支部と交歓会を行う。初の試みでもあり、幹事さんは何かと大変、だろがうまく収めて、交流を深めたものである。

日 時 十月十九日(土)
集合場所 一橋大学東校舎正門前 午前八時半
参加費 二千元
連絡先 山崎 武72-3948
ご家族連れ歓迎致します。
(城 目暮)

学出身の諸先生にお願いしてあります。昨年は18名の方が相談に来られました。今年はより一層相談しやすい雰囲気を作りたいたいと思います。今年十一月三日(日)、四日(月)と、市民祭りが行われます。白門会は四日にバザー、無料相談を行います。三日は、テント設営など準備に当てます。日頃白門会とは何ぞやと少しでも気に留めている方は、こういう時が接触するいい機会です。ぜひ参加して、そして親睦を深めましょう。
(江良利久引)

厚生部だより
□会長杯争奪囲碁大会
日 時 十一月二十四日(日)
午前十時開場
午後一時半試合開始
場 所 ダイヤパレス集会場
会 費 千円(賞品・お茶代)
連絡先 村田 亘 TEL 75-2020
山崎 武72-3948
□新年会
日 時 六一年一月二五日(土)
午後五時半から
場 所 信濃路
詳細は山崎まで

白門ニュース第十一号の一頁で、ご紹介しました「あれこれ考える会」は都合で延期になっていましたが、文化の秋を迎えて恒例の市民祭を終えた後の左記日取りに皆様に集まっていたいただき、茶話会的に国立の事を話し合ってみませんか。テーマは私案ではあります。が、「住み良い街づくり」等は如何でしょうか。皆様のより多くの参加を期待します。

日 時 11月13日(水) 午後6時から9時まで
場 所 ダイヤパレス集会場
参加費 無料
連絡先 久保田利雄 75-2244

■村田支部長留任、顧問に酒井氏

第八回定時総会

本年五月十二日、国立市商工会館において、母校より桃井常任理事、学員会より阿部事務局長を迎えて、学員約三十名が出席して開催された。

総会は玉利武人氏の司会により、井上副支部長の開会の辞、村田支部長が母校百周年記念募金に対する支部学員の協力を謝し、学員相互の親睦・各種事業の推進に努力する決意が述べられた。

ご多忙の折からご列席下さった桃井常任理事より、大学の近況と百周年事業の内容と進展状況並びに、募金の実情を報告された。

ついで村田支部長が議長となり、前年度活動報告、決算報告及び会計監査報告がされ、満場一致で承認された。また、百周年記念事業の経過・当支部の募金が目標額を達成した旨報告された。

続いて、本年度事業計画・予算案、任期満了に伴う新役員を選任し顧問に酒井博氏、支部長に村田巨氏、副支部長に井上定男氏、福谷実氏及び荒木繁幸氏、その他の役員については理事会に一任しは満場一致で承認となり、議事を終了した。

最後に、来賓の学員会阿部事務局長、八王子支部長関孝氏、日野支部長内田清氏、立川支部幹事長牛島剛氏より心



中央大学学員会 国立支部 第8回定時総会 (60.5.12)

温まる御祝辞を頂いた後、福谷副支部長の閉会の辞で総会を終えた。

ついで、懇親会に移り風間副幹事長の司会で始まり、酒井顧問の音頭により乾杯、学員の近況報告など時の経つのを忘れてなごやかに歓談。最後に校歌を合唱して閉会した。(丸本 大記)

創立百周年記念講演会

理工学部助教授 鹿島 茂氏
直木賞受賞作家 志茂田 景樹氏

を迎えて

五月二十五日、母校主催による創立百周年記念講演会は、講師に理工学部助教授鹿島茂先生及び母校出身、直木賞受賞作家志茂田景樹氏を迎え、国立市・国立市教育委員会後援、学員会国立支部の外、諸団体多数の協賛を得て、国立市商工会館で開催された。

村田支部長挨拶の後、国立市教育委員長岡本隆氏は祝辞の中で、今後も講演会を続けたい旨を述べられた。

まず、鹿島先生は「暮しから見た都市と交通」と題し、都市が抱えている交通事情について色々な事例を挙げて問題を提起された。ついで、志茂田景樹氏は「真実の青春」と題し、体験を交えての情熱的でウィットに富んだ青春考であった。井上副支部長の閉会の辞で講演会を終えた。

引き続き、懇親会に移り、乾杯の後、後援・協賛団体より祝辞をいただいたから、談笑に花を咲かせ、和気あいあいの中に宴も酣となり時の経つのを忘れて歓談は続いた。

(平本聖子記)



懇親会



著書にサインをする志茂田氏

質実剛健の気風を忘れずに

副支部長 荒木繁幸



白門会国立支部が誕生して既に八年が経過します。

国立支部を築き、ここまで育てあげてくれた村田支部長以下、諸先輩の努力に対し、心から敬意を表するしだいでありませう。

また、百年の歴史と伝統を持つわれらが母校に改めて誇りと喜びを感じているところでもあります。

さて、このたび、若輩の身でありながら副支部長に選任され、その職責の重大さと使命の大きさを痛感しております。浅学非才ではありますが、市役所を代表し、全力を尽くして会に貢献したいと考えているところでもあります。

いま、行政をとりまく環境は誠に厳しく、変動していく社会・経済情勢にどう対応していくかが、市にとっても大きな課題となっております。この時に当り各界に進出している諸先輩の知識とエネルギーが、問題解決のための大きな力になり得るものと確信しているところです。文教都市を掲げる市政に役立つ白門会として、私自身も微力ながら大いに健闘していきたいと考

えている所存です。

母校は白門の名が示すように、いつまでもフレッシュで若さに満ちあふれております。私自身も若さと情熱を失わず、「質実剛健」を座右の銘としてがんばっていききたいと思っております。

白門会の限りない発展と友愛のため、みなさんと手を携え、共に前進していきたいと考えております。最後に先輩諸氏のご指導、ご鞭撻をお願いし、就任のあいさつといたします。

◆◆新役員紹介◆◆

今年、任期満了に伴う役員改選がありました。総会での議決通り、旧役員に加えて新たに次の七名が選任されました。これからの活躍が期待されます。

☆顧問

酒井 博 (18年法卒)

新潟県長岡公証人役場で公証人をしておられました。勲三等瑞宝章を受章されたことは記憶に新しい事と思えます。

☆副支部長

荒木繁幸 (39年法卒)

国立市役所勤務。

☆厚生部

小林 治 (51年法卒)

小林労務管理事務所代表。

●中大キャラクター●

Great Be!

かぶと虫

カブト虫は昆虫の王様の「虫王(ちゅうおう)」。愛称は「Great Be!」。「BeはBeetle(の略称)」、若者に行動を促すBeでもあり、昆虫の王様と偉大なる中央大学という意味で「Greatを冠した」という。

(学員時報218号から)



百周年記念行事として、母校では大学のマスコットを募集していたが、このほど応募総数百二十一点の中から、最優秀に橋本陽志(経二年)さんの「カブト虫」が決まった。

☆組織部
小口卓也 (43年文卒)
樹芸書房勤務。
大串源太郎 (39年経卒)
国立市役所勤務。

納涼懇親会は一水園で!!

☆広報部
金子泰久 (32年法卒)
読売広告社勤務
平本聖子 (58年法卒)

ちょうど一年前、市橋先生のお祝いの時は改築中だった一水園の庄屋門は見事に出来上がり、私たちはその前で記念写真をとった後、ゆっくり緑濃い庭をよぎって本館に足を運んだ。七月二十日(土)の夕闇迫る頃だった。午後六時すぎ山崎厚生部長の挨拶があり、井上副支部長からは「今春長らく入院された村田会長がお元氣になられ誠にうれい。暑さも本番を迎える折柄くれぐれもご自愛を……」と退院のお祝いを述べ、市橋先生からきれいな花束が贈られて一同の盛んな拍手を浴びた。間に合った谷市長も村田会長へ全快祝いのご挨拶をされたが、若い平本聖子さんの初出席を喜ばれると共に丸本幹事長が今回行政相談員という大事な公務につかれたと披露があった。そして村田会長からねんごろな感謝の言葉があり、酒井先生による乾杯のあとは暑気払いの無礼講とあって二十名の明るい談笑がはずみだした。酒間を幹旋する仲居さん方のサービスもよく、カラオケも次から次へと新曲が歌

われた。サントリービールのほか、この家自慢の清酒「社会冠」に大分の麦焼酎「吉四無」もかなり飲まれていた。流石、今晚設営の労をとった風間副幹事長の気配りは、涼味を誘う料理の数かずみられ、久しぶりに本格的味覚を楽しませてくれた。多忙な中を井上市議の精かな姿も見られた。午後九時、福谷副支部長の「国立白門会万歳」の後、母校の校歌を高らかに斉唱してめでたくお開きとした。(能味寿哉)



200年へのステップ

創立100周年記念行事

●色々な行事が企画されていますが、特に面白そうなのをピックアップしました。いずれも事前に申し込みが必要です。気をつけて下さい。

※※中大音楽研究会による音楽祭※※

- 1.日 時 10月24日(木), 25日(金) 午後6時開演
- 2.会 場 八王子市民会館
- 3.内 容 24日(クラシックの夕べ)
管弦楽部, 吹奏楽部, 合唱部, マンドリン部
25日(ライト・ミュージック・コンサート)
ポピュラー部5団体
- 4.入場料 無 料
- 5.申込期間 10月1日(火)~9日(水)

※※ベルリン国立歌劇劇場室内管弦楽団によるコンサート※※

- 1.日 時 11月26日(火) 午後6時30分開演
- 2.会 場 八王子市民会館
- 3.曲 目 モーツアルト「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」 ト長調KV 525
モーツアルト「協奏交響曲」バイオリン・ビオラとオーケストラの為KV 362
モーツアルト交響曲第40番ト短調KV 550
- 4.入場料 無 料
- 5.申込期間 11月1日(金)~11日(月)

※※ 記 念 講 演 ※※

- 1.日 時 11月14日(木) 午後1時30分
- 2.会 場 新宿京王プラザホテル コンコルドボール・ルーム
- 3.講 師 川口 弘 (中央大学前学長)
「21世紀における大学の使命(仮題)」
アルフォンソ・ガルシア=ロブレス (ジュネーブ軍縮委員会メキシコ政府首席代表)
「国連と軍縮(仮題)」
- 4.申込期間 10月15日(火)~25日(金)

△▽ 申し込み方法 ▽△

往復ハガキで、往信用に行事名、開催日、申込者名、参加人員、返信用に受取人住所氏名を記入のうえお申し込み下さい(多数の場合抽選)。

〒192-03 八王子市東中野742-1
中央大学学長室学事課「百周年」係
TEL 0426-74-2140

Wine & Dinner

あなたのひとときを

イタリアンレストラン

OPEN 11:30AM~10:00PM
中1-9-4 大学通り白十字2F
TEL. 76-1401



奥多摩ドライブ

家族ぐるみで

六月二日は好天に恵まれ、快適なドライブ日和だった。

広い道を覆うような並木の、大学通りのほぼ中央にある、一橋大学正門前から、総員二十一名は五台のマイカーを連ね、奥多摩に向けて出発した。小作から吉野街道を、多摩川沿いに西進し神代橋南詰、そこに文豪吉川英治先生の未亡人が経営されている「紅梅苑」でお茶を一服。

青梅駅沢井の傍にある清酒「沢乃井」醸造工場を見学、

岩をくり抜いたトンネルを、湧水が流れる。これが清酒「沢乃井」の源泉なのだ。各人原酒小ビン一本をお土産にいただき、青葉の陰を落す清流を望むレストランで、軽食の後奥多摩湖へ向う。

湖畔の「湖底の村」赤石の碑前で写真をとった。幾つものトンネルを潜り、峯谷橋、深山橋、三頭橋を渡り、反転して急峻な有料道路を登り詰めるころ、海拔千メートルの月夜見峠駐車場に到着した。国立公園秩父奥多摩の主峯雲取山(二千メートル)は流れる雲に覆われ、東の川乗山や西の大菩薩山嶺、飛竜の諸峯は霧の切れ間に雄大な姿を

現わしてくれた。

眺望を楽しんだ後、急坂急カーブを下り続けて五日市町の秋川溪谷沿いにある「料亭黒茶屋」に到着した。樹木の中に岩場やせせらぎ、水車など巧みに取り入れ、自然観に満たされた一棟に入る。そこでは竹林の静さが労をいやしてくれた。

卓上をにぎわす風味豊かな山菜や川魚、そばなどを賞味した後、帰路に就き、五時半ごろ国立市に戻った。家族ぐるみのドライブで、楽しみながら学員相互の親睦を、一増深めることができたことは望外の幸せであった。(厚生部長・山崎記)



奥多摩湖 赤石の碑の前にて

編集後記

今号で、初めて編集会議なるものを開いた。人員も増強されたため、色々な意見が出され、改めて編集会議の重要さを痛感した。今回はその成果が表われて、今まではちがった編集になっていく。なお、記者名を載せたが、一部推理小説の有名人を拝借させてもらった。簡単に分かる方もいらっしゃるだろう。編集者の稚戯だと思っで一笑に付して下さい。(枝留球留 歩垂路)